

ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

北海道で、拡大行動

函館での取り組み

静函館市学童保育分会
は、今年5月より全労連・
道労連・函労会議・建交
労北海道本部・建交労函
館支部の協力を得ながら
キャラバン行動を行って
おります。

渡島・檜山地方2市1
6町の自治体要請や学童
保育現場を回り、アンケ

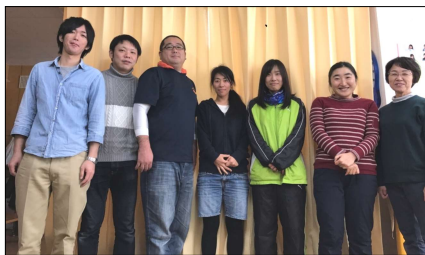
ー調査をしました。事業
の実施形態・定員や支援
員の身分と人数・賃金と
年収などを調査し、実態
が浮き彫りとなりました。

しわ寄せは どこに来るのか

支援員の身分は正規職
員を置かず非正規職員
のみで運営している自治
体が10自治体もありまし
た。中には1人や2人しか
配置されていない、酷い
実態がありました。
時給は地方に行くにつ

れて高くなっていく傾向
があり、937円〜11
93円です。背景には、
募集をかけても全然なり
手がいない、ということ
があります。

正規職員は最低が13
万532円、最高が20
万3280円。その平均
は14万9845円です。
ちなみに利用料は0円
〜1万934円と比較的
安く、0円〜8千円がほ
とんどで函館市が頭



函館分会の仲間

1つ抜け出ています。あ
る市では、利用料が千円
の状況で予算額を上げる
のは厳しいと利用料の安
さを原因にあげる自治体
もありました。

「仕事が好きな のに、転職 を考える」

回収できた調査用紙に
は悲痛な叫びが、枠内
では収まらないほどびっ
しりと書いている方もい
ました。

- ・ 抜粋しますと、
- ・ 子どもの人数に対して
支援員が少なすぎる
- ・ 長期休みの勤務時間が
長い。
- ・ 休憩が取れない。有休
がとりにくい
- ・ 長期休み中の人員不足

- ・ 施設、環境の充実、
支援員の労働改善等々
- ・ 臨時職員に丸投げで職
員はほぼ対応せず、館長
のような存在がない。
- ・ しょうがいのある子が
いても書類だけで現場
に丸投げ。

- ・ シフト表も現場で作成
やりがいを感じている
- ・ やりがいを感じている
が、雇用形態が臨時職
員で半年ごとの更新と
なっているため保障が
なく将来が不安。
- ・ 仕事が好きなのに転職
を考えてしまう。

- ・ 臨時職員という立場で
仕事をしているが、自
分たちの責任で全てを
任されているような形
に感じることも多い。

など、不安・不満を募
らせていることがわかり
ました。

その他、 活動報告と 今後の展開

7月16日に「学童保
育をもっと良くしよう。

スウェーデン視察と道南
の自治体キャラバンの報
告会」を北斗市で開催。
北斗・七飯町の支援員
に呼びかけましたが函館
の支援員と保護者の参加
のみで目論見が外れてし
まいましたが21人の参
加がありました。

10月21日に「仮称・
学童保育の明日を考える
会」を中央本部の角田委
員長を招き支援員と保護
者を対象に勉強会を行
います。

その成果を持ち11月
23日に支援員交流会を
開き組織拡大を狙います。

12月の議会にて学童
保育について議員質問し
ていただくため市議団と
の意見交換を行ったり、
要望案を作成するなど
考えています。

キャラバン活動の1か
年計画はまだ始まったば
かりですが中身の濃い計
画となっています。

(函館学童保育分会

渡辺 将隆)